

おはら祭 (11月2日)



11月2日に第58回おはら祭・前夜祭が開催され、腎愛会職員も参加しました。

当日は日中から気温が低く、時折強い風が吹くなど、とても寒い中での踊り披露となりましたが、皆さん元気なパフォーマンスを見せてくれました。業者のかたもたくさん参加し、荷物持ちなど裏方もつとめてくれました。

寒い天気にもかかわらず、多くの人が見物に詰めかけ、沿道から温かい声援を送っていました。

今年初めて参加したという上山病院病棟の永田さんは、「すごく寒かったです。でも他の部署のスタッフと会話もでき、とても楽しかったです。同期や病棟の先輩方の、いつもとは違う一面も見ることができ、より仲良くなれた気がします。是非、来年は美味しい美味しい豚汁を作る係になりたいと思います(笑)。」と話していました。



高齢者疑似体験

10月26日から28日まで、社会福祉協議会から高齢者の日常の動作を疑似体験できる装具を腎愛会でお借りし、多くの職員が実際に装備して階段を昇り降りするなど、貴重な体験をしました。受付で患者さんと接する機会が多い医事課の木原さんも、さっそくトライ。全装具を身につけて、廊下を歩いたり、階段を上ったり下りたりしました。

体験を終えて、木原さんは「視界がすごく狭く、腰が曲がるので上も見えず、不安でした。特に階段では、上から人が降りてくるとき、誰がどのように降りてくるのか分からず怖かったです。これからは、お体の不自由なかたとの会話や介助の際には、同じ目線、同じ立場に立つことを心がけたいです」と話していました。

